

# 平成21年度当初予算

平成21年度の一般会計および特別会計等の予算が3月定例議会に提案され、可決されました。

一般会計の予算額は66億3000万円、六つの特別会計等の予算額は53億4864万円で、全会計の総額は119億7864万4千円となり、前年度に比べ3.8%減の予算となりました。

## 一般会計の概要

21年度の一般会計予算は66億3000万円、20年度に比べ3000万円の減となりました。

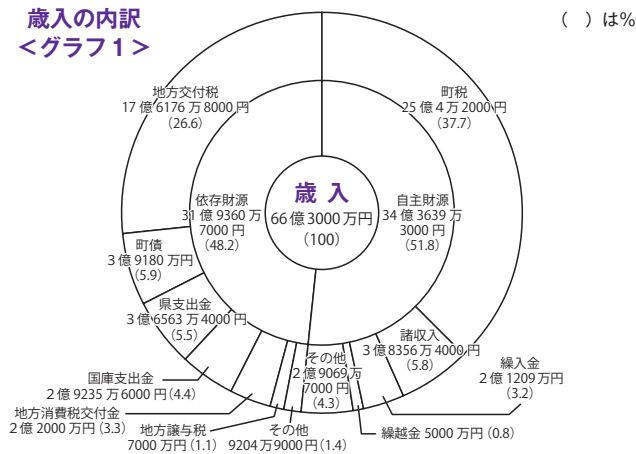
### 主な歳入・歳出

#### ① 歳入(グラフ1)

町税などの自主財源は51.8%で、前年に比べ3.5ポイント下がりました。

町税予算25億円のうち、町民税は12億円、対前年27億円の減となりました。これは景気後退の影響から法人町民税などの減収が反映しています。固定資産税は11億円、対前年75億円の減となりました。これは地価の下落や3年に1度の評価替えの影響による減収です。

歳入の内訳 <グラフ1>



#### ② 歳出(グラフ2,3)

目的別では、20年度に対し減額と

国から地方へ交付される地方交付税は17億6200万円、歳入全体の26.6%を占めています。対前年93億円の増となっています。町が借入れを行う町債は3億9200万円、対前年93億円の増となっていますが、そのうち3億8000万円は臨時財政対策債で、その償還額は全額地方交付税に算入され、後年度に歳入として入ってきます。

なった費目は、衛生費、農林水産業費、消防費、公債費の四つです。農林水産業費は1億4400万円、対前年23億円の減で13.8ポイント下がりましたが、これは特別会計への繰出金や業務委託、工事請負費の額が減額になったためです。国や金融機関に対する借入金の返済である公債費は、20年度に続き減額となりました。

教育費は7億5800万円、対前年62億円の増となりました。本年度から指導主事を置き、また中学校少人数指導などを強化して学校教育現場の指導体制を整備します。性質別では、普通建設事業費が4億2900万円、対前年91億円の増となっていますが、これは内原大谷線道路整備受託事業の増額によるものです。

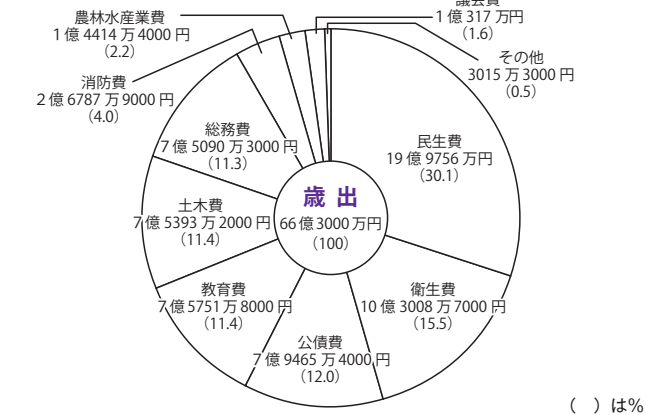
一般会計から公共下水道などの特別会計へ支出する繰出金は、7億5700万円、対前年2億5700万円の減となりました。

支出が義務づけられている人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、前年から減少していますが、21年度も引き続き歳出抑制を推進していきます。

## 歳出予算の主な内容

教育・文化	須恵中学校防水工事	1090万円
	民俗資料館空調設備設置工事	244万円
	あおば会館非常階段改修工事	300万円
	あおば会館漏水防止工事	170万円
	運動公園野球場スタンド整備工事	630万円
	校区コミュニティ推進補助金	570万円
生活基盤整備等	須恵町外二ヶ町清掃施設組合負担金・ごみし尿	5億1714万円
	塵芥処理費	1億9083万円
	交通安全施設費	1140万円
	町道維持費	4545万円
	内原～大谷線道路受託事業費	3億772万円
	公共下水道事業特別会計繰出金	2億5181万円
	農業集落排水事業特別会計繰出金	5823万円
	粕屋南部消防組合負担金	2億2606万円
	可搬式消防ポンプ購入	672万円
福祉・健康づくり	認定こども園費	5967万円
	児童手当	2億3916万円
	障害者福祉・支援費	2億4128万円
	福岡県介護保険広域連合負担金	2億1622万円
	国民健康保険特別会計繰出金	1億6403万円
	老人保健・後期高齢者医療特別会計繰出金	6690万円
	後期高齢者医療療養給付費負担金	1億9388万円
	住民健康対策・保健事業費	1億924万円
	子宝応援手当	260万円
産業振興・その他	農道、水路、ため池補修整備費	700万円
	商業振興費	728万円
	コミュニティバス導入検討費	511万円
	須恵スマートIC事業費	11万円
	衆議院議員総選挙費	868万円
	緊急雇用創出事業費	336万円
	公債費元金利子償還金	7億9415万円

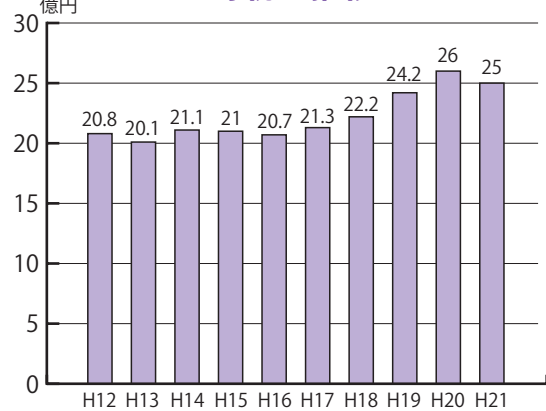
歳出(目的別)の内訳 <グラフ2>



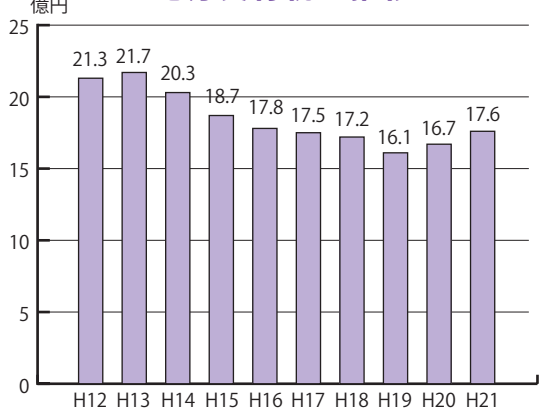
歳出(性質別)の内訳 <グラフ3>



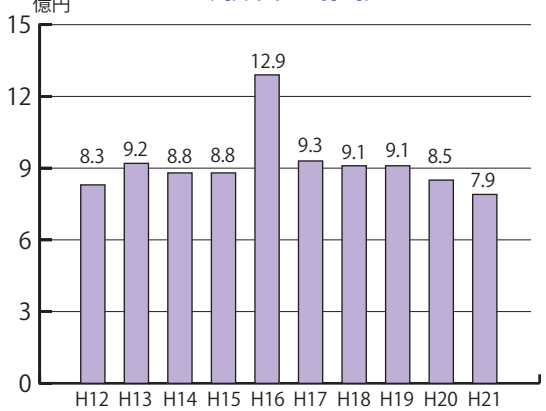
町税の推移



地方交付税の推移



公債費の推移



事業名	予算額
定額給付金給付事業費	4億1200万円
地方道路整備事業費	4720万円
コミュニティバス購入費	2000万円
第一小学校校舎耐震診断設計委託料	2000万円
第二学童保育所増築工事	495万円
須恵中央駅前広場整備工事費	1700万円
子育て応援特別手当支給事業費	1540万円
須恵中学校耐震診断設計委託料	875万円
合計	5億4530万円

■繰越明許費  
次の平成20年度予算を平成21年度へ繰越明許することが3月の定例議会で提案され、可決されました。

※繰越明許費とは…経費の性質など何らかの理由により年度内に支出を終わらない見込があるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算のことです。